



日産合成工業株式会社 メールマガジン
2015・03・03 第99号



今年も茨城県桜川市真壁町の雛祭り「和の風」に行ってきました。真壁町は、筑波山の西にある緑が豊かで人口約2万人の小さな落ち着いた町です。江戸時代初期から続く城下町を中心とした商業、明治末期以降の全国一の規模を持つ石材業(御影石)、そして安定した気候と豊かな水源に支えられた農業が町の人々の暮らしを培ってきました。このため随所に伝統的な建造物だけではなく、江戸時代からの雛人形などの歴史的な文物が数多く残されています。裕福な町だったのでしょうが、大名や将軍などとは違ってやはり庶民の文化だったのでしょう。なんとなく和やかな町です。特に今年は下記のようなものを見ました。

真壁街並み案内ボランティアは、真壁の伝統的建造物群保存地区内の登録文化財を中心に伝統的な建物や街並みについて、現地を歩きながら案内する活動を行っています。約1時間のコースなので疲れませんし、毎年コースが変わるので、何度行っても楽しめます。

今年の案内で面白かったのが、旧家の蔵の中に展示されていた酔っぱらったお雛様です(写真)。全員ほほを赤くして、内裏様は大臣の手拍子に合わせて踊っていますし、官女は婚活でもしているのでしょうか。五人囃子の囃子方は酔って寝ています。この様なお人形なのか、飾り方なのか解りませんが、何ともかわいらしく楽しいお雛様でした。

しかし、「雛人形をしまうのが遅れると婚期を逃す」といわれています。これは、いつ



までもお雛様を片付けないとだらしのない女の子と思われ、嫁入り先も見つからないぞ、という意味の言い伝えです。このような考え方からすれば酔っぱらったおひな様を飾ることは問題かも知れませんが、同時に今後築いてゆく楽しい家庭を表しているともいえます。いずれにしてもお雛様は「幸せな結婚」に結びついていますので、写真のような酔っぱらったおひな様をみて若い男性がどう判断するかにかかっていると思います。

さて、ニッサンメールマガジン第99号をお届けします。

平成27年度「委託プロジェクト研究」の公募について

農林水産省は、農林水産政策上重要な研究のうち、農林水産分野及び関連分野の研究総力をあげて取り組むべき課題について委託プロジェクト研究を実施しており、現在、平成27年度より実施する以下の六つの研究事項について平成27年3月26日(木曜日)まで公募を行っています。

- 1.収益力向上のための研究開発
- 2.生産システム革新のための研究開発
- 3.温暖化適応・異常気象対応のための研究開発

- 4.森林資源を最適利用するための技術開発
- 5.海外植物遺伝資源の収集・提供強化
- 6.営農再開のための放射性物質対策技術の開発

弊社に関連ありそうな研究事項は2ですが、この中には「繁殖性の改善による家畜の生涯生産性向上技術の開発」という課題があり、研究内容としては「乳用牛及び肉用牛の分娩後の繁殖機能を早期に回復させる技術並びに乳用牛及び肉用牛の人工授精用精液（雌雄判別精液を含む。）の受精能力を向上させる技術」を開発するとなっています。どのような研究開発が開始されるか楽しみです。詳細は [こちら](#) をクリックしてご覧ください。

乳用牛ベストパフォーマンス実現会議

農林水産省は、現在わが国で飼養されている乳用牛の泌乳能力を最大限に発揮（ベストパフォーマンス）させていくため、乳用牛の繁殖・飼養管理における最新の知見を集約した上で、酪農家における点検改善ポイントを情報発信し、乳用牛の更なる生産性向上を図ることを目的として、有識者からなる「乳用牛ベストパフォーマンス実現会議」を設置し、会議を開催しています。第1回会議を平成26年10月31日に、第2回会議を平成27年2月18日に開催しました。

実現会議の委員を務める有識者によって今後の乳用牛の飼養管理の方向付けがなされるとわれ、議論の内容には大変興味があります。しかし、会議は公開ですが傍聴可能人数15名程度ですので、申し込んでもなかなか傍聴は無理なようです。

幸い今後のスケジュールとして、酪農家の飼養衛生管理等における改善ポイントに関する最新の知見についてのプレゼンテーションとパネルディスカッションを内容とした「乳用牛ベストパフォーマンス実現セミナー」が2～3月に開催される予定です。

今回の会議資料は、会議終了後に下記URLページで公開されることになっていますが、現在は第1回会議資料のみが掲載されています。それでも実現会議の開催趣旨、委員名簿、提起された問題等が閲覧できます。詳細は [こちら](#) をクリックしてご覧ください。

ニッサン情報 第88号の概要および URL

乳牛は周産期に強い酸化ストレスにさらされることが報告されていますし、暑熱期の気温等もストレスの原因(ストレッサー)になります。つまり暑熱期に分娩する乳牛は二つの大きなストレッサーに同時にさらされることになります。このため、トラブルの多い時期です。しかし、この時期は乳価が高いので、上手に乗り切ることができれば、所得向上という大きなプラスの面を持っています。そこでストレス対策がいろいろと検討されていますが、酸化ストレスを低減する技術について熊本県畜産研究所の三角先生が出された成果の概要を「ニッサン情報」第88号にまとめてみました。

「ニッサン情報」は、[当社のウェブサイト](#) のトップページにある「技術情報」をクリックし、「ニッサン情報」のページに入るとご覧になれます。ぜひご利用ください。

- メールマガジンの配信も [当社のウェブサイト](#) から登録できます。
- このメールマガジンへのお問い合わせ、ご意見・ご要望等、並びに技術的な問題等がございましたら、[当社のウェブサイト](#) のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

お知らせ アドレス変更をお忘れなく

— — — この mail を受信されている方に — — —

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を [当社のウェブサイト](#) のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。

配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしく申し上げます。

また、今後の配信が不要な場合にも [当社のウェブサイト](#) のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。